資質向上講習に224名

広島県配置医薬品連合会

登録販売者と既存配置の併用で実施

一般社団法人広島県配置医薬品連合会（小畠恒治会長）の平成二十五年広島県資質向上薬事講習会は、六月十三日午前九時から午後六時まで広島市中区加古町の広島市文化交流会館で、広島県健康福祉局薬務課と広島市中消防署の協力を得て開催した。この講習会は、登録販売者研修と既存配置研修を兼ねており、会員二百二十四名が参加した。

門那良三副会長の司会で始められ、小畠恒治会長があいさつを述べたあと、来賓の会顧問・檜山俊宏県議と海嶋照美県薬務課長が、それぞれの立場からあいさつ、激励した。顧問・緒方直之県議からの祝電（メッセージ）披露のち、講義に入った。

まず、薬物乱用防止の「ダメ。ゼッタイ。」で県薬務課の河村隆宏麻薬グループ専門員が講話。講義に併せて、連合会では、薬物乱用防止の国連支援募金を実施した。

ついで、「漢方講座」と題して二反田正弘二反田薬品工業㈱社長が、「配置関連法規」と「医薬品の適正使用・安全対策」について県薬務課の城本隆昭薬事グループ主任が、それぞれ講義。

城本講師の講義の中で、懸案となっていた区域管理簿について書式案等が示され詳細に説明があった。

ここで午前の部の講義内容で確認テスト三十問を実施した。

午後一時からは救急救命講習とし、講師に迎えた広島市中消防署の松永真雄消防司令救急救命士から講義を受けたあと実技体験となった。講義では、特に、配置販売で想定される高齢者等への対応の講義があった。実技体験では、実技指導員三名が加わり会場を四つに分けて、AEDの取扱・人工呼吸・応急処置等多くの会員が救命救急の実技を体験した。

そのあと、連合会専任講師による講義となって、「養生訓」について資質向上対策委員長の小池一正薬剤師が、「熱中症」について同委員会副委員長の金田和宏薬剤師が、それぞれ講義。

最後に、リスク区分関連事項、総括、情報提供等のち、午後五時四十分から午後の部の確認テストを実施、解答終了者から退席、午後六時十五分に終了した。

同連合会では、確認テストは午前の部が薬務課の製作、午後の部が連合会の製作とし、各三十問ずつで計六十問を一枚のマークシートに解答して出席確認にも使用する。集計結果は薬務課に報告している。

なお、午後の部では、途中の休憩時間を利用して、恒例の車椅子チャリティー募金を実施、昨年の車椅子贈呈式のスライドも上映された。また、開会前には午前八時半から受付で通信教育テキストの配布と新ネームプレートの申請受付等も行われた。

四グループに分かれてAEDによる応急措置など救急救命の実技も＝広島市文化交流会館

檜山顧問県議

海嶋薬務課長

松永救急救命士

春季理事会も

講習会終了後に別室で平成二十五年度春季理事会を食事会と合わせて開催、理事二十名が出席した。

小畠会長が議長を務め進行。会務報告では、登録販売者外部研修について、薬局グループ企業からの依頼を受けて、二月三日と三月二十四日に、依頼企業の会議室で座学十二時間を実施、修了書を授与し薬務課に届を完了。四十三名の受講があり、講師を薬務課OBの藤谷幸治氏に依頼するとともに、会の専任講師が担当。同研修会受託の諸経費等の報告もあった。

新規従事者研修は、四月十八日に県庁会議室で、例年通り薬務課と連合会で実施、四十四名の受講があった。

親睦会・合同委員会は五月八日～九日にグリンピア瀬戸内で開催、各種行事の打ち合わせや、四十周年祝賀会、業界問題についての意見交換等を行った。

会計中間報告は平野克重会計がおこなった。

そのほか、▽配置薬のアピールについて意見交換▽四十周年祝賀会についての各種見積書・シナリオ・来賓等について意見集約▽区域管理簿についての徹底事項▽厚生労働大臣表彰についての伝達―などで活発な意見交換が行われ、午後八時十分に閉会した。